

授業科目名	教育相談・カウンセリング論		授業形態	講義	授業科目区分	教職科目 (教職)		
担当教員名	中本 浩揮・幾留 沙智・山下 協子				補助担当者名			
単位数	2 単位		履修年次	3年次	受け入れ人数	200名程度		
授業の概要	現代の教育現場では子どもの不適応あるいは発達障がいなど対応すべき事項が多様化している。そのため、教育相談における現代的課題の理解や解決に関する実際的に応用可能な基礎技能を身に付けることは教師としての責務といえる。本講義では、教育現場の事例を通して、カウンセリングの基礎、臨床現場におけるカウンセリングと学校現場における教育相談の違いについての理解を深める。また、様々な不適応行動や発達障がいに対する現状と心理学から見た理論・対処法の学習を通じて、教育相談の意義を理解したり、組織的な取組みや連携の必要性について理解する。さらに種々の問題を予防する開発的カウンセリングとして、構成的グループ・エンカウンターの実践について体験を通して身に付ける。							
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法				
	D Pで 目指す 資質・ 能力	指導者基礎力、コミュニケーション力、専門 的な知識・教養	授業期間			定期 試験	割合 %	
		()	授業	テスト	レポート			発表
		認知的領域	教育現場で生じる生徒の心の問題や発達障が いに対処できる知識を身に付ける。					60
		情意的領域	教育相談・カウンセリングの基礎理論や意義 ，学校教育との関係に関する理解を深める。					20
技能的領域	子どもの自己理解・他者理解・社会性を発達 させる実践的スキルを身に付ける。					20		
成績評価の基準	小テスト、授業後の感想、レポート、及び学期末試験を実施する。これらを総合して成績評価を行う。出席2/3未満の者は放棄扱いとし評価しない。							
テキスト、教材 参考書	テキストは使用しないが、必要に応じて資料を配付する。							
履修条件・ 関連科目	特になし		備考(教員メッ セージ含む)	受講人数が多いため基本的に1・2年生の受講は認めない。				
オフィス・アワー	随時(707教員室)							
授業計画								
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	中本 浩揮	なぜ学校現場にカウンセリングが必要か？			カウンセリングの必要性について復習する(30分)			
2	"	カウンセリングの基礎と生徒理解			カウンセリングの基礎について復習する(30分)			
3	山下 協子	カウンセリングの基礎と傾聴技法			小テストに向けての復習(30分)			
4	中本 浩揮	いじめの理解とその対応			いじめの理解について小テストに向けての復習(30分)			
5	"	いじめの理解とその対応			小テストに向けての復習(30分)			
6	山下 協子	不登校児の理解と対応			不登校児の対応についてカウンセリングの役割を 予習(30分)			
7	"	不登校児の理解と対応			小テストに向けての復習・レポート(1時間)			
8	中本 浩揮	発達障がい 発達障がい児の理解と対応の概論			小テストに向けての復習(30分)			
9	"	発達障がい ADHDの理解と対応			小テストに向けての復習(30分)			
10	"	発達障がい 自閉症スペクトラムの理解と対応			小テストに向けての復習(30分)			
11	幾留 沙智	開発的カウンセリングの考え方と現場での応用事例			予防的カウンセリングの予習と小テストに向けて の復習(30分)			
12	"	構成的グループ・エンカウンター基礎			小テストに向けての復習・レポート(1時間)			
13	中本 浩揮	構成的グループ・エンカウンターショートエクササイズ			小テストに向けての復習(30分)			
14	"	自己カウンセリング技法			小テストに向けての復習(30分)			
15	"	教育・相談カウンセリングの総括			期末試験に向けての復習(1時間)			
16	中本 浩揮 幾留 沙智	学期末試験			期末試験の復習(1時間)			